



2023年

ネクタリン病害虫防除暦

J A 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100 ㍓当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ㍓/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 98 ㍓) アブロードフロアブル 100m㍓ キンセット水和剤 80 100g スプレーオイル 2㍓	7日前 開花直前 発芽前	2回 5回 —	300	せん孔細菌病 (縮葉病) カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセット水和剤80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)でもよい。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないよう注意する。 ②せん孔細菌病対策 開花前にキンセット水和剤80の1,000倍(開花直前まで、5回)を特別散布する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間(開花直前 ~ 6月中下旬)の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ ICボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病	*せん孔細菌病対策 開花期~6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する ①アブラムシ類対策 落花直後の散布にウララDFの2,000倍(7日前、2回)を加用する。 ②【代替】落花直後：パレード15フロアブルに代えて、トレノックスフロアブルの500倍(30日前、5回)を使用する。 ③【代替】5月中旬散布：トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブルの2,000倍(前日、3回)でもよい。
3	月 日	落花直後	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ サムコルフロアブル10 20m㍓ パレード15フロアブル 50m㍓ マイコシールド 66g	3日前 前日 28日前	2回 2回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類 シンクイムシ類 コスカシバ	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ モスピラン顆粒水溶剤 25g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	3日前 30日前 28日前	3回 5回 5回	400	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	①【代替】5月下旬散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの1,000倍(—、—)でもよい。ただし、葉に葉害を生じる恐れがあるため、クレフノンの100倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの1,000倍を使用する。 ②【代替】ハチハチフロアブルに代えてイカヅチWDGの1,500倍(前日、2回)でもよい。 ③カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ トレノックスフロアブル 200m㍓ ハチハチフロアブル 50m㍓ マイコシールド 66g	30日前 前日 28日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	①【代替】5月下旬散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの1,000倍(—、—)でもよい。ただし、葉に葉害を生じる恐れがあるため、クレフノンの100倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの1,000倍を使用する。 ②【代替】ハチハチフロアブルに代えてイカヅチWDGの1,500倍(前日、2回)でもよい。 ③カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ アルパリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	前日 30日前 28日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	
7	月 日	6月中下旬	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ デランフロアブル 166m㍓ ダーズバンDF 33g スターナ水和剤 100g	14日前 14日前 7日前	2回 2回 3回	500	せん孔細菌病 ホモブシス腐敗病 黒星病、灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類	①晩生種：せん孔細菌病対策 スターナ水和剤に代えてマイコシールドの1,500倍(28日前、5回)を使用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ナリアWDG 50g イカヅチWDG 66g	前日 前日	2回 2回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	
9	月 日	7月中下旬	展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル 50m㍓ エクシレルSE 20m㍓	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	①ハダニ類対策 ダニコングフロアブルの2,000倍(前日、1回)を加用する。
10	月 日	8月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ベルコートフロアブル 50m㍓ アーデントフロアブル 50m㍓	前日 前日	2回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	
11	月 日	8月中下旬	展着剤(ハイテンパワー) アルパリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50m㍓	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類	①【もも混植園】アザミウマ類対策 ディアナWDGの10,000倍(前日、2回)を加用する。
12	月 日	9月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ベルコートフロアブル 50m㍓	前日	2回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類	
13	月	収穫終了後 9月上中旬~	展着剤(アビオン-E) 50m㍓ ICボルドー412 3.3kg ダイアジノン水和剤 34 100g	— — 21日前	— — 3回	500	せん孔細菌病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ若齢幼虫	*ダイアジノン水和剤34は1回目の散布のみ使用する。 ①【代替】ICボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)でもよい。葉害が心配される場合は、クレフノンの100倍を加用する。 ②コスカシバ対策 フェニックスフロアブルの500倍(開花期まで、1回)を樹幹部及び主枝に十分散布する。
14	月 日	10月上旬						
15	月 日	3回散布						

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します